

議 長 受付番号第8号、武尾哲治君の一般質問を許します。登壇願います。

2 番 武 尾 議長の許しを得て、受付番号第8号、2番議員 武尾哲治、一般質問を行います。件名、デマンドバス事業を自走可能にするために。

要旨。デマンドバス事業は、今年度で2年目となり、来年度で実証実験が終了となります。既に町民の足の一部を担っているデマンドバスですが、再来年度からの自走に向けての具体的な試みをお伺いします。

町 長 それでは、武尾議員の御質問にお答えをいたします。まず、A I オンデマンドバス「のるーと足柄」の実証実験を行うに当たり、本町は65歳以上の高齢者人口のピークは過ぎているが、今後高齢者の免許返納や若い世代のマイカー運転機会の減少などにより、様々な年代の移動需要に対応した新たな公共交通サービスを模索するため、町地域公共交通会議等での協議を得た上で、新モビリティサービスの必要性などに関する町民ニーズ調査を行い、その調査結果において新たなモビリティサービスの導入希望の意見が多かったため、町地域公共交通計画において、基本方針や目標の中に新たな公共交通サービスとしてA I オンデマンド交通を位置づけ、ほかの自治体に先駆け、令和5年10月23日からA I オンデマンドバスの実証運行を開始しております。

これは、町民の生活圏における既存交通を補完し、多様なニーズに柔軟に応えるための新たなサービスとして、A I 活用型運行システムを採用した路線バスとタクシーの間に位置する新たな乗合バスの交通施策となります。この事業は、町民の生活圏における既存交通を補完し、多様なニーズに柔軟に応える新たな移動サービスとして採用した路線バスとタクシーの間に位置する新たな乗合バスの交通施策として、令和7年度末までの3年間を実験運行期間と位置づけ、運行に係る課題の洗い出しや整理を行い、本町に合った公共交通サービスのスタイルを確立していくもので、路線バスを補完しながら、今までサービスが行き届かなかった地域や時間帯をカバーし、町内等の乗降場所を多く設置し、利用者の自宅の近くにて乗り降りができるようにしております。

乗車人数につきましては、令和6年7月末現在の数値でございますが、約10か月間の合計で2万772回、延べですね、スタートから3か月ごとの1日1台

当たりの利用平均回数につきましては、開始の10月から12月は4台運行しましたので、4台運行にて1台当たり18.7回、1月から3月までは4台運行にて1台当たり21.3回、4月から7月までの4か月間では3台運行ということで、1台当たり25.6回となっている状況でございます。

運営法人では、令和6年度の目標数値を1日1台当たりの利用平均回数を約1台当たり60回まで増やすというふうに掲げておりますが、現状はほど遠いような状況でございます。

また、「のるーと足柄」に利用登録されていた人数を見ますと、昨年の10月23日現在では261人、令和6年7月末現在で1,637人となっており、着実に増加はしていますが、実証運行スタート前に行ったニーズ調査をもとにした当初の見込みと比較すると、登録人数にして48%ほどであり、利用者人数で言うと9.5%、目標値との比較においてもかなり低くなっている状況でございますので、今後も登録だけで終わらず、乗車していただけるように周知活動を強化するように指導してまいります。

次に、初年度となる令和5年度の事業の収支につきましては、御存じのとおり約2,900万円ほどのマイナスとなっております。一般社団法人足柄オンデマンドが負担することとなっておりますので、令和6年度につきましては1年目の結果を踏まえた中で、より持続可能な事業となるよう、運行計画や乗車運賃などについて、事情に合わせて改定するとともに、町民ニーズを踏まえたさらなる利便性の向上及び持続的な運行に向け、今後は3か月ごとに運賃の見直しや車両台数及びバス停等の再検討を行うとともに、4年目となるとともに、3年目ですね、3年目となります令和8年…あ、4年目ですね、4年目となる令和8年度からは完全自走をする事業として、利用回数を4台運行とした場合には、1日の台数当たりとして約150回以上の乗車回数の確保や、車両内に設置してありますデジタルサイネージを活用した宣伝広告費収入、そのほかの収入増加に向けた事業計画を定めて、令和6年11月よりエリアの拡大による利便性の向上や、新システムの導入による予約に伴う運行ルート最適化、キャッシュレス化の導入、利用者の獲得に向けたスマホ教室などの周知や啓発活動を行

う予定としております。

歳出につきましては、本事業の運営法人においても人員配置や運行経費の見直しを行い、運行経費等の削減に取り組むとともに、本町の様々な主体に合った運行及び事業運営方法を導き出すために、随時柔軟な対応をし、安全・安心で持続可能な地域交通事業となるよう、法人と連携して取り組んでまいります。

本事業については、今は利用されていない方であっても、5年後、10年後には必要となる方のためにも、継続していかなくてはならない事業と考えておりますが、現在の利用状況で改善がされないままでは、継続が非常に困難な状況でございますので、令和8年度以降、自立・自走していく形で運行を展開できるよう、とにかく多くの方に乗っていただき、育ていただいて、持続可能な事業に成り立つとして、持続可能な事業として成り立ちますので、引き続き御支援のほど、よろしくお願いいたします。以上でございます。

2 番 武 尾 ありがとうございます。それでは再質問とさせていただきます。まずは、先ほどの御回答の中で、令和5年度事業の収支について、約2,900万円のマイナスということでした。初期投資等もあったとは思いますが、当該事業者はですね、これをどのような形で返済していく計画等をお持ちなのか、お聞きします。

参事兼政策推進課長 この事業につきましては、本格運行、令和8年度というところで、そこまでに返済ができるかという状況の計画ではない状況にあります。令和5年度の返済ですと約2,900万、6年度、7年度におきましても、今後の状況を踏まえながら収支の状況が厳しくなるという計画になっております。そうした中で、令和8年度でおおむね収支をゼロに向けての数値の計画になっておりますので、それ以降の返済をしていきながら、令和十何年後かにはペイできるというような返済計画を考えているところと法人のほうは言っております。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。いわゆる長期返済で考えているということでしょうか。

それでは、続きまして今後の収支についてなんですけれども、収支の目安として、ちょっと1か月単位で私は考えてみたんですけれども、先ほどの御回答

をもとにすると、現状は1日で約80件、乗車数ですね。ざっくり月で言うと2,400件。これを収入で考えると、月で約72万円ぐらいの売上なんだなというふうにお聞きしました。そして、事業者の目標としてなんですけど、1台60件ということだったので、1日約240件を見込んでいて、月では7,200件。売上は、これは先ほどの料金改定も伴って400円をベースに考えたんですけども、約、月の収入は288万円ぐらい。そして、将来的にはというお話があったんですが、1台150件を乗せた場合には4台で1日約600件で、月にしますと1万8,000件を、そして月の収入では720万円ぐらいの収入を見込んでいられるということでお聞きしました。この目安をお聞きしたんですけども、私は1つ聞きたいのはですね、この1か月の収支のいわゆる分岐点、最低限ここまで売上があれば経費がゼロで収まるよという、ざっくりとした数字なり件数があるならば教えていただきたい。それは、この補助金が出ている場合と、あとは自走した場合と、もし分かれば教えていただきたいです。

参事兼政策推進課長

まず、本格運行に向けての先ほどの数値でございます。基本は利用料金400円というものを設定をしております。そうすると、極力ですね、4台運行、マックスで4・4運行を考えると、150回は必ず見込まなくてはいけない。そうすると年間7,200万円以上の収入を得なければ収支の状況は厳しいというところになっております。

ただしですね、補助金があったからというところを考えると、それに頼りにされるのがあれなので、基本的にはもう本格運行に向けて、その辺を確保するために何をしなくてはいけないかというところで、返済計画を含めて考えているところでございます。以上です。

2 番 武 尾

ありがとうございました。それでは、これから売上を上げていくための何点かの事業があったと思うんですが、それについてちょっとお聞きします。現在の話を聞くと、大分非常に厳しい状況というのが本当に分かるんですけども、先ほどエリア拡大についてのお話がありました。これは8番議員からの質問にもちょっとかぶってしまうんですけども、大井町に続いて開成町もということで、これはあくまでも松田町から乗り入れるというエリアを増やして、売上

の拡大をしていくということだと思えるんですけども、これは将来的なんですけど、いわゆるこの事業をですね、松田町だけに限らず、この3町で一本化してやっていくようなことは可能なのかお聞きしたい。以上です。

参事兼政策推進課長 御質問ありがとうございます。この議論につきましてはですね、神奈川県にもちょっと進達をしているんですけども、広域での公共交通というのは今、必要になっているというところがございます。そうした観点で、今、開成町さんと大井町さんにはですね、そのような連携をしながら、それぞれの協議会に入って情報共有をしながら進めておりますので、県を通してですね、そういう協議体が別に設けられて、その中で運営体制をとっていくということも視野に入れて、国にも進達していますので、そこは視野に入れてやっていきたいというふうに考えています。そうすると、それぞれの負担が出てきますので、そうした観点で進めていきたいなというふうな形を考えております。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。それでは次にですね、これも先ほどの回答の中で利用者の獲得のためのスマホ教室とかというお話があったんですけども、スマホを利用してもらって、利用者を増やす、スマホの使い方を教えて利用者を増やすというお話があったんですけども、それとともになんですが、いま一度地域での説明会とかですね、状況によっては戸別訪問などして、PRや営業活動をしていくようなお考えというのはありますでしょうか。

参事兼政策推進課長 もちろんですね、今、議員おっしゃったとおり、営業活動が一番大事なので、それは積極的にやっております。先ほどスマホ教室につきましては、12月の開催でですね、社会福祉協議会を通してやるような感じで考えています。そこに合わせたシニアクラブへの出前講座というのもやっていきます。そして、今言われた説明会も、逆に前出的な講座的に説明会をやっていきたいなということも考えていますので、その辺を含めてやっていきたいなというふうには考えます。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。それでは次にですね、歳出のほうについてお聞きします。歳出の削減ということで、人員の配置とか運行経費の見直しということがあったんですけども、この予約システム、オペレーションシステム自体

をですね、外部に委託して経費を節減するというような選択肢はありますでしょうか。

参事兼政策推進課長

今、議員おっしゃられたのは、いわゆる全てを外部に委託をするという感じで考えて…それともオペレーションだけという…分かりました。経常経費のですね、オペレーションにつきましては、現在ですね、歳出の削減として、今までより人員配置をですね、1名のスタッフとアルバイトのみでやっています。2名でやっております。当初はですね、4名体制あるいは5名体制でやっていたことがありましたので、現在は2名体制で振り回しているというところでございます。

議員御質問のとおりですね、実証運行3年間におきましては、この事業を国のほうにも進展しながらですね、交通関係事業者1者の独占とするようなことではなく、公共交通の事業者をみんなを含めて育ててくださいというのがございましたので、この期間においては今すぐにですね、民間にお願いするというのではなく、連携してやっていこうということがありますが、今後費用対効果を踏まえて、本格運行に向けては法人のほうにアドバイス、指導しながらですね、民間運行の計画も考えていきたいというふうには考えております。以上です。

2 番 武 尾

ありがとうございました。それでは、これで最後の質問になるんですけども、当町のデマンドバス事業というのは、私の知る限りなんですけれども、他の事例と比較しますと、まだ公共交通事業が少ないと、本数は少ないとはいえ、残っている状況。なおかつ、自家用車の利用率も高い中で将来を見越した実証実験だというふうに考えております。このような状況の中で、乗車数を上げていくのは非常に至難のわざであるというふうにも思います。昨年の10月にスタートいたしまして、現在のデマンドバスに対しての町民の関心がですね、以前よりも大分薄らいでいるような気もいたします。便利だから利用する、安いから利用するというのではなくてですね、この公共交通サービスを存続させていくためにはですね、まずは利用してみる。乗ることによって、デマンドバスを応援するというような町民や町の機運を高めていくことが重要ではないか

など私は思うんですが、いかがでしょうか。

参事兼政策推進課長 そのとおりだと思います。私もですね、地域公共交通会議、また。AIオンデマンドバスのほうの専門部会の中でもですね、まず乗るために多くの方ですね、町民がまず意識を持ってもらわなきゃいけないというのがありますので、ここはみんな乗ってください、乗ってくださいではなくですね、意識を持ってもらって、本当に乗り育てるような形に取り組むための周知も含めてですね、法人と連携して、町としてやっていきたいなというふうに考えております。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。現状はですね、決して順調であるとは言えないと思うんですけども、町長の答弁にもありましたとおり、5年後、10年後にこのデマンドバスがあつてよかったと町民に思っただけの事業になっていただきたいです。以上をもちまして私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

議 長 以上で受付番号第8号、武尾哲治君の一般質問を終わります。

以上で本日本日予定しました日程の全てが終了いたしました。本日の会議はこれにて散会いたします。明日は午前9時より本会議を開きますので、定刻までに御参集くださるようお願いいたします。本日は大変御苦労さまでした。

(16時17分)